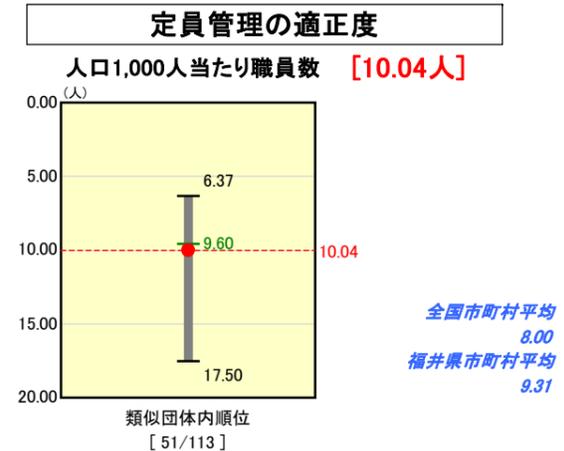
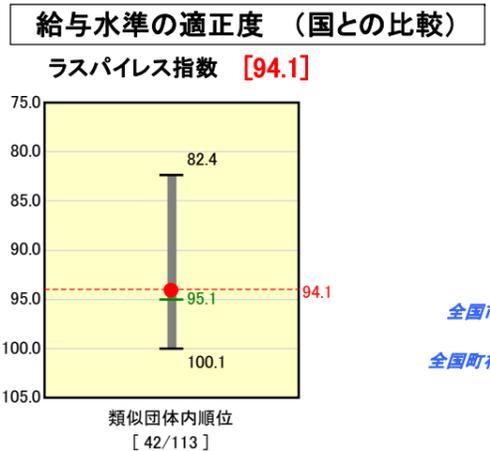
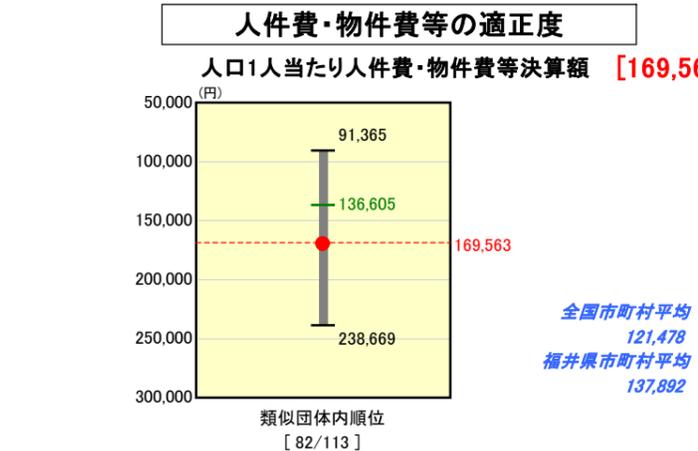
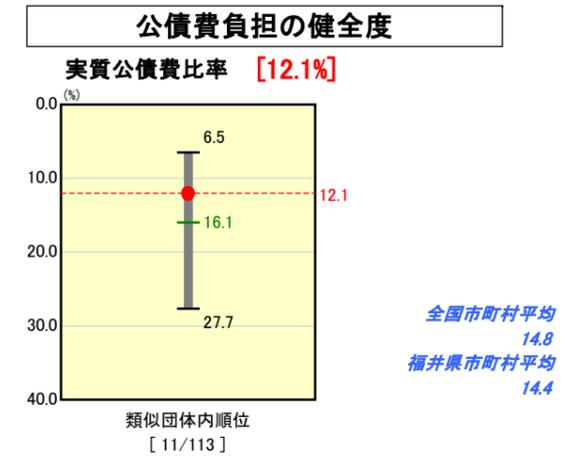
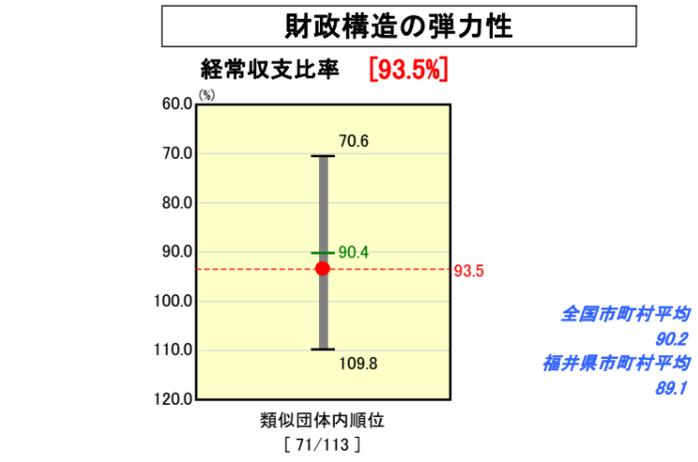
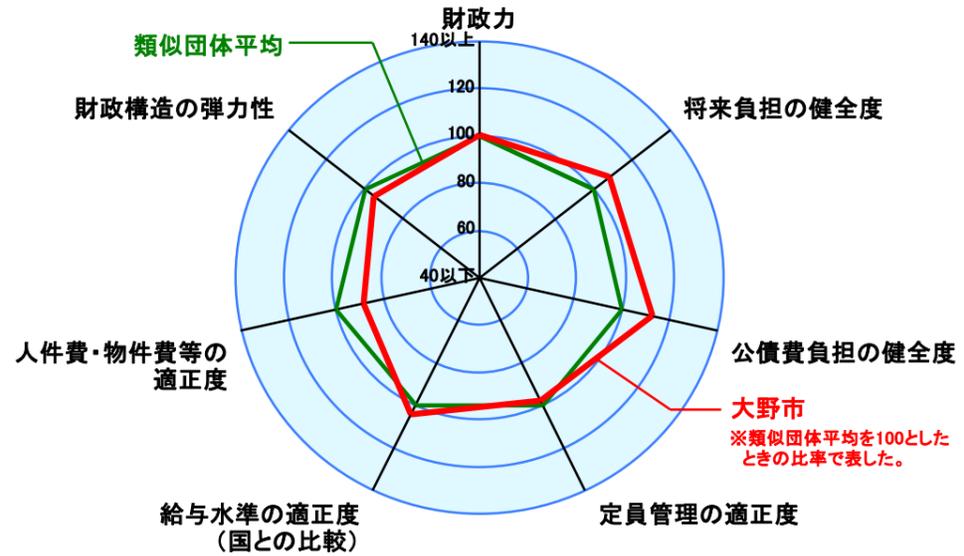
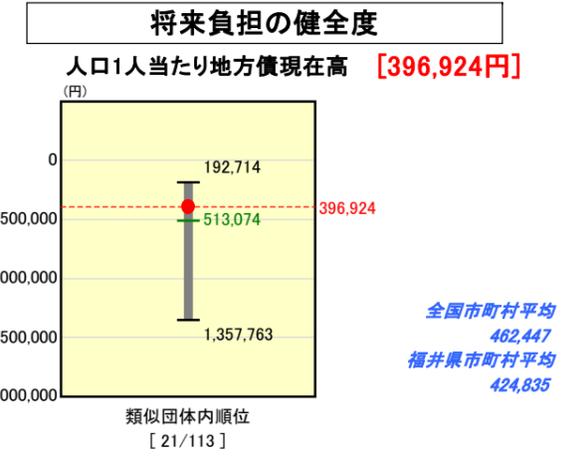
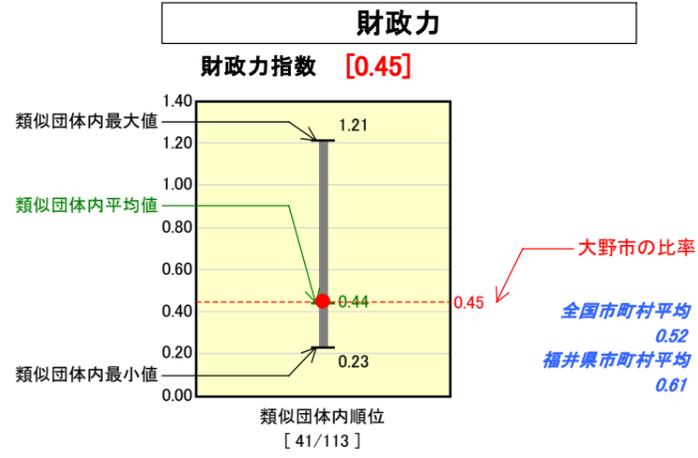


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福井県 大野市

人口	38,944 人(H18.3.31現在)
面積	872.30 km ²
歳入総額	20,887,348 千円
歳出総額	19,927,427 千円
実質収支	660,334 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

※平成17年11月7日に、市町村合併により、旧和泉村を編入した。

●**財政力指数**
財政力指数0.45は昨年比で下がっているが、市町村合併に伴い類似団体区分が変わったこと等により、類似団体平均を若干ながら上回ることとなった。引き続き、定員適正化計画に基づく職員数や特別職給与の見直しにより人件費の削減を行い(10年間で1割減)、行財政改革を推進し、財政の効率化・健全化を図る。

●**経常収支比率**
市町村合併により、平成16年度の旧大野市の経常収支比率92.0%に比べ1.5ポイント上昇し93.5%となり、類似団体平均を大きく上回った。これは、公債費分が2.4ポイント上昇していることが大きな要因である。今後は、事務事業評価システムを本格導入し、事業の緊急性、優先性、効率化等を考慮し、事務事業の整理合理化を図る。

●**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に維持補修費を要因としており、これは平成18年豪雪に伴う除雪費が大きく伸びたためである。

●**人口1人当たり地方債現在高**
大規模建設事業により昨年比で数値は上昇しているものの、類似団体平均を大きく下回っている。今後、市町村合併に伴う新庁舎の建設事業や保健福祉医療の総合センターの建設が予定されているが、市債の発行を抑制し、財政の健全化を図る。

●**実質公債費比率**
これまでの起債抑制により類似団体平均を大きく下回っているが、近年の大規模建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇が見込まれる。今後は、市債発行上限額を年10億円に設定すること等により比率の上昇を抑える。

●**ラスパイレース指数**
新給与制度への移行後も給与の適正化に努めてきており、類似団体平均を下回っている。今後も勤務実績に応じた昇給制度を実施し、より一層の給与の適正化に努める。

●**人口1,000人当たり職員数**
平成17年11月の合併により、職員数が増となり類似団体平均を上回っている。定員適正化計画に基づき組織の機構改革や民間委託の推進により合併時の443人から平成22年4月1日までに、24人(5.4%)の削減を目指す。